

平成7年度 和歌山県文化賞

やす だ はる ひこ
保 田 春 彦

住 所：神奈川県中郡大磯町

出 身 地：和歌山県那賀郡粉河町

生 年：昭和5年

◎業績及び経歴

昭和27年東京美術学校彫刻科卒業。昭和32年渡仏、パリのグランド・ショミエール美術研究所、ザッキン教室に学び、昭和35年からローマに移り、昭和43年までローマ・ウィーン等で個展を開催。帰国後は神戸須磨離宮公園現代彫刻展(大賞受賞)、サンパウロ・ビエンナーレ展(ビエンナーレ受賞)をはじめ国内外の数多くの展覧会に出品、受賞され、最近では平成7年10月最も歴史が古く権威のあるとされている旭川市の中原悌二郎賞を受賞。

「情緒的なものを払拭する」と評される作風は従来の日本人作家にはない独自の境地を開いたものとして高い評価を得ており、作品は乞われて日本各地に設置され、また全国の美術展等の選考委員を委嘱されるなど日本の現代彫刻家を代表する一人として活躍している。

本県では平成6年開設の県立近代美術館前庭の「球を覆う幕舎」や那賀総合庁舎前の「十字の構造」、御坊市庁舎の「仰角のある立方体」などの作品がある。平成7年には神奈川、三重、大原(岡山)、和歌山の4美術館共同で作品展が開催された。

■現在

武蔵野美術大学造形学部教授

■主な表彰歴等

昭和34年 第1回パリ青年美術家ビエンナーレ
選抜

昭和46年 第21回芸術選奨・文部大臣新人賞

昭和48年 和歌山県文化奨励賞